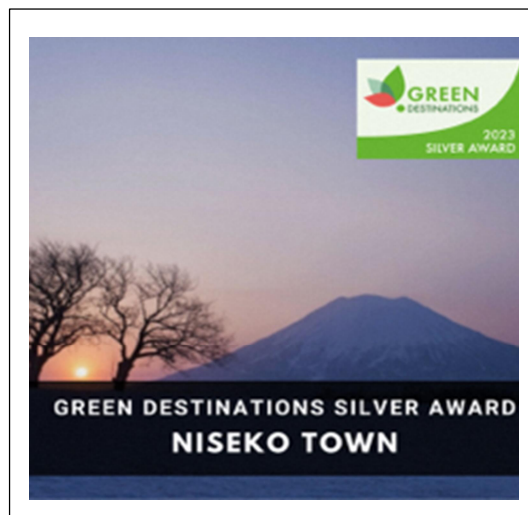


ニセコ町が観光地の国際認証団体「グリーン・デスティネーションズ」より シルバーアワードを受賞



ニセコ町は、観光地の国際認証団体「グリーン・デスティネーションズ^{※1}」（本部オランダ、以下GD）の審査を受け、シルバーアワードを受賞したことをお知らせいたします。

「GDアワード」に申請する観光地は、世界持続可能観光協議会（GSTC）の承認を受けたGD基準^{※2}に基づいて審査され、そのスコアに応じてブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナの各賞、そしてサートیفアイド（GSTC認証）を受けることができます^{※3}。初めて審査に臨んだ今年は、ブロンズアワードの受賞を目標としてまいりました。

結果、ニセコ町が特に力を注いできた自然環境と社会福祉分野における持続可能な取り組みがとりわけ高く評価され、最終的にシルバーアワードを獲得することができました。これにより、ニセコ町は持続可能な観光地として、国際的な第三者機関から高い評価を得たこととなります。

ニセコ町は、世界的に関心が高まるサステナブルツーリズムの日本の先進地として、より一層魅力あふれる観光地を目指してまいります。

【ニセコ町長 片山健也コメント】

この度ニセコ町が観光地の国際認証機関であるグリーン・デスティネーションズからシルバーアワードを受賞できたことを大変光栄に思っております。

町の観光政策の軸足を「持続可能な観光地域づくり」に置き、これまでも様々な取り組みを進め2020年、2021年には2年続けてグリーン・デスティネーションズTOP100選を受賞、同じく2021年にはUNWTO（国連世界観光機関）ベスト・ツーリズム・ビレッジにも選定されました。2021年、2022年にはGSTC公式トレーニングを開催し活動を推進する地域人材の育成にも力を入れており、これらの取り組みを評価していただき2022年には第14回観光庁長官表彰をいただいております。

今回の審査では観光に関する取り組みのみならず、これまでニセコ町が環境モデル都市として進めてきた様々な持続可能なまちづくり、そして町民のみなさま、事業者のみなさまのご理解とご協力が高く評価されているものと考えております。ニセコ町が誇る先人・有島武郎の説いた「相互扶助」の精神を今後とも大切にしていきたいと思います。

今回は初めての挑戦でシルバーアワードという高い評価をいただくことができましたが、この結果に甘んじることなく更なる高みを目指していく所存です。日本のみならずアジア NO.1、世界最高品質の観光地のひとつとなるため努力を続けてまいります。

ニセコ町長 片山 健也



【本件に関するお問い合わせ】

ニセコ国際観光認証会議 議長：ニセコ町長 片山健也

(事務局：(株)LOOPORT、協力：(一社)サステナビリティ・コーディネーター協会)

連絡先：ニセコ町サステナビリティ・コーディネーター 青木 真郎

電話番号：090-8897-8643

E-Mail：masaoaoki@looport.co.jp

【授賞式】

Green Destinations 2023 Conference

<https://www.greendestinations.org/gd-2023-estonia/>

開催日時：2023年10月8日

開催場所：エストニア タリン

主催：Green Destinations

【受賞により期待される効果】

本年3月に閣議決定された「観光立国推進基本計画」では、令和7年までに「持続可能な観光地域づくりに取り組む地域」として、国際観光表彰・認証に取り組む地域を50に増やすこととしています。

欧米を中心に質の高い観光を求める旅行者は、近年国際認証の取得地を優先的に選択する傾向があります。観光地にもサステナビリティを求め、かつ消費額が比較的高い層の旅行者の誘客が今後期待されます。

GDのアワードを受賞した地域は、受賞の証であるロゴマークの活用や専用ホームページによる国際的なPRが可能となります。

※1













Green Destinations は世界持続可能観光協議会（GSTC）が認定している第三者認証機関で、観光地向けの表彰・認証制度を運営しています。

※2

GD 基準は、GSTC が定めた観光地に関する持続可能性を評価する指標（GSTC-D）をベースとした基準です。「観光地マネジメント」「自然と景観」「環境と気候」「文化と伝統」「社会福祉」「ビジネスとコミュニケーション」の6分野を柱に構成されており、各基準には関連するSDGsが設定されています。

GD 基準に対応するSDGs

（GD 基準コア項目から抜粋）

| GD 基準 | SDGs | GD 基準 | SDGs |
|-----------------------------|---|------------------------|---|
| サステナビリティ コーディネーター の配置 |  | エネルギー消費量の削減 |   |
| 観光が自然に与える影響 |   | 持続可能な観光計画への 住民参加 |    |
| 風景と景観 |   | 地域の特産品や特色ある サービスの奨励 |   |

グリーンデ・ステイネーションズ提供資料より作成

※3 GD アワードの仕組み

GD 基準 84 項目について審査を行い、基準の達成率によって受賞するアワードが異なります。最高位の GSTC サーティファイド（基準達成率 100%）を取得している地域は世界で 5 地域のみ。（2023 年 10 月 1 日時点）



出典：グリーン・デスティネーションズ リーフレットより

GD アワードおよびサステナビリティストーリーズ 100 選を受賞した日本の都市（直近 4 年）

※サステナビリティストーリーズ 100 選は、GD アワードの初級編という位置づけです

| 受賞した年 | GD アワード <GD 基準 84 項目の審査> | サステナビリティストーリーズ 100 選 <優良事例コンペティション> |
|--------|-----------------------------|---|
| 2019 年 | 釜石市（ブロンズアワード） | 釜石市 |
| 2020 年 | | 二セコ町、釜石市、三浦半島、京都市、白川村、沖縄県 |
| 2021 年 | | 二セコ町、京都市、釜石市、奄美大島、阿蘇市、長良川流域、七尾市および中能登町、那須塩原市、佐渡市、小豆島町、豊岡市、与論島 |
| 2022 年 | 釜石市（シルバーアワード） | 釜石市、阿蘇市、下呂温泉、箱根町、東松島市、南知多町、那須塩原市、小国町、大洲市、小豆島町 |

グリーン・デスティネーションズ オフィシャルウェブサイトの情報をもとに作成